



子どもの村東北 ニュースレター

# つながるしあわせ

R.Campbell



みんなで植樹。綺麗な藤の花が咲くといいな！

第12回

## 村からのメッセージ 着任あいさつ



子どもの村東北  
村長

豊田 幸二

### プロフィール

- ・元小学校教諭(担任23年間。特別支援教育及び不登校対応支援コーディネーター9年間歴任)
- ・元シンガポール日本人学校クレメンティ校教諭
- ・資格:特別支援教育士(日本LD学会所属)
- ・趣味:サーフィン キャンプ スノーボード 釣り
- ・好きな言葉:心こそ大切な

2024年4月4日、当法人のユニットシェルター(株式会社社仙台銘様寄贈)に、新体制を記念して藤の花が植樹されました。まだ小さな苗木の先に、紫色の藤の花が風に揺れています。

この春から、育親兼子どもの村東北の村長となりました豊田幸二と申します。開村当初から想像もつかない多くの方々からのご支援のおかげで、今日の当法人がありますことに心から感謝申し上げます。そして、その真心に応えるべく社会課題への挑戦を通して恩返ししたいと決意しております。

こども家庭庁の発表(R5.4.5)によると、「社会的に養護を行う対象児童は約4万2千人」。これは、新国立競技場の収容人数の約8個分です。また、「里親等委託率は、平成23年度末の13.5%から、令和3年度末には23.5%に上昇」しているものの、諸外国(オーストラリア92.3%等)の里親等委託率に比べると、「里親支援・里親普及」が日本の喫緊の社会課題とも言えます。

一方で、同庁(R4.9.7)は令和4年度の児童虐待相談対応件数を公表。件数は21万9,170件で、前年度より11,510件増え、過去最多を更新しました。虐待が関係した痛ましい事件が毎日のようにニュースに流れ心が痛みます。

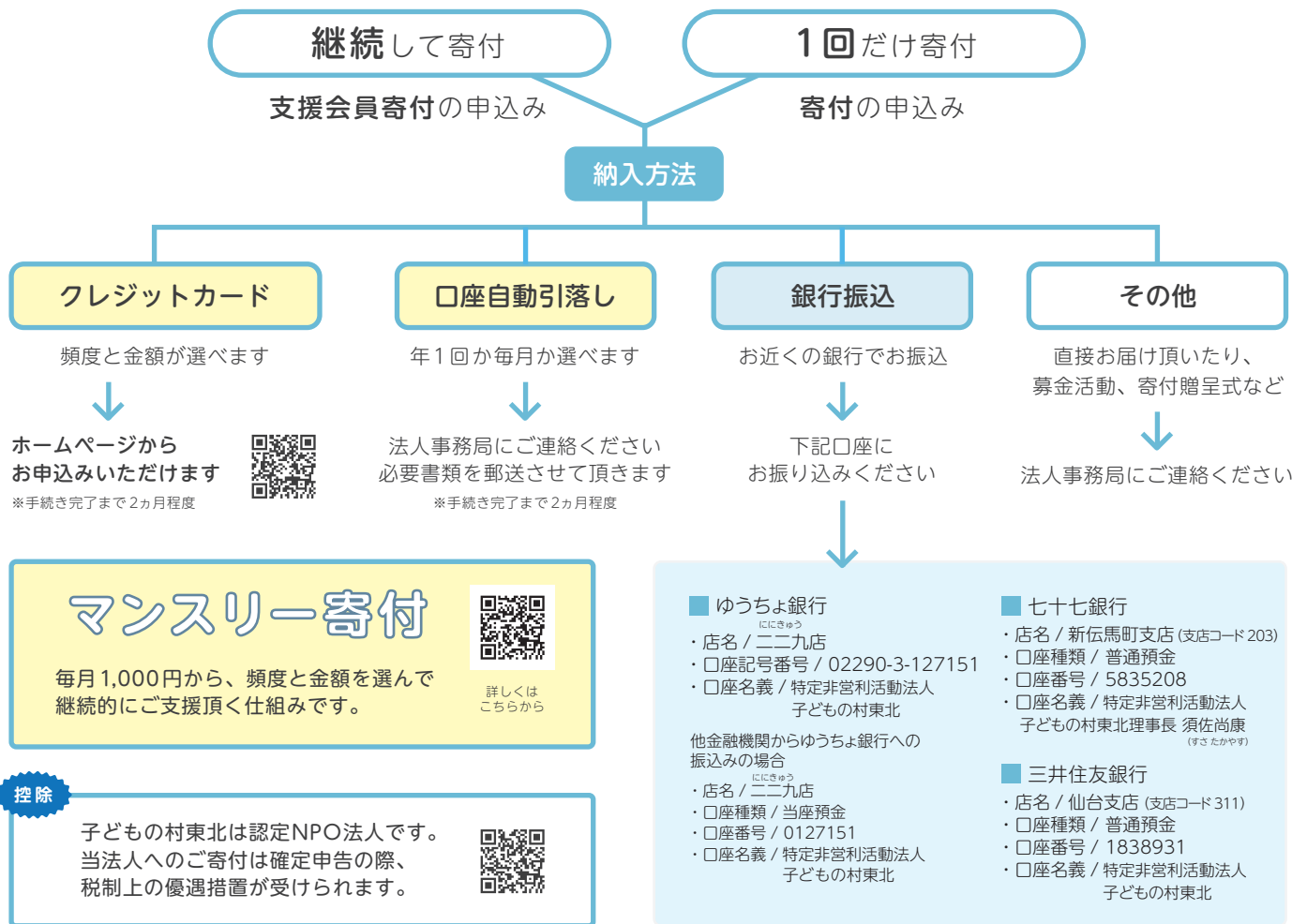
このような社会課題を踏まえ、当法人の使命は「里親支援・啓蒙」と「子育て支援」と定めました。里親支援事業では長期委託や一時保護を「村全体でのチーム養育」を目指します。また、年に数回「里親カフェ」を開催し、現里親さんと里親に興味のある方々との対話の機会を設けます。更に、子育て支援事業では「子育て応援プロジェクト」を企画し、経験豊かな講師陣による講座を開催する予定です。

藤の花の言葉は「愛と信頼」「決して離れない」です。子どもの村東北が「愛と信頼の発信基地」となり、皆様と繋がっていくことを願っております。そしてぜひ、子どもの村東北にお立ち寄りください。スタッフ全員でお待ちしております。

# いろいろな 支援のかたち

子どもの村東北は、その多くがご寄付でまかなわれています。  
ここでは、寄付や支援の方法をご紹介します。どうかご支援ご協力をよろしくお願い致します。

## 寄付の申込み方法



## 寄付以外の支援方法

遺贈	古品回収	募金箱・自販機の設定	応援グッズ
遺言により、ご自身の財産を相続人以外の特定の人や団体に分け与えること。遺贈先として子どもの村東北をご指定頂くと子どもたちの未来に役立てることができます。	家の中に眠る「お宝」をダンボールに入れて贈るだけで寄付ができる「お宝エイド」。切手、ブランド品、骨董品、カメラ、楽器など、大掃除や引越しを機にぜひ検討してみてください。	ご支援を呼びかけるため、店舗レジ横や、病院や施設、会社の受付など、募金箱の設置場所を探しています。同様に、売り上げの一部が寄付される支援自販機の設置場所も探しております。	商品をご購入頂くことで、売り上げの一部が子どもの村東北に寄付されます。楽曲 CD、ドライフルーツ、大麦グラノーラ、イノシシ革のシューズなど。

詳しくはホームページをご覧ください <http://cvtohoku.org>



## 子育て応援プロジェクト 2024年度子育て講座（2回シリーズ）



## 第1回

「不登校を理解するpartII…子どもたちからの伝言」  
～「育てにくさ」と「育ちにくさ」と…～

2024年7月6日(土) 10:00-12:00

※会場、web共 手話通訳付き

講師:阿部 正孝(あべ まさたか)氏  
郡山健康科学専門学校講師・キャンパスワーカー  
専門:精神保健福祉…障害者の支援の在り方

- ・募集対象:子育てに関わる全ての方
- ・募集人数:会場参加 30名 ※会場参加とオンライン参加のハイブリットでの開催  
オンライン参加 50名 (当日チャットでの質問も受け付けています)
- ・参加費:無料
- ・会場:子どもの村東北 杜のホール
- ・応募方法:右記の申し込みフォームQRコード、または電話でも可

## 第2回

「育てにくさって…ずっと続くの?」  
～ちいさなきづきからの第一歩～

2025年2月15日(土) 13:30-15:30

講師:山崎 剛(やまざき たけし)氏  
公認心理士、臨床心理士、公益社団法人宮城県精神保健福祉協会  
「みやぎ心のケアセンター」副センター長  
専門:臨床心理学、カウンセリング

## 申込期間

第1回 2024年5月15日～7月3日

第2回 2024年12月15日～2025年2月10日

<https://ws.formzu.net/dist/S32866754/>



申し込みはこちら

## 子どもの村東北『夏祭り』のお知らせ

地域に開かれた『子どもの村東北』を目指し、夏祭りを開催します。  
さまざまな催し物を企画しておりますので、ぜひご参加ください。

日時:2024年07月20日(土)10:30-15:00

会場:子どもの村東北村庭他

協賛のお願い:この夏祭りは、村の単独事業として地域交流を目的に、屋台  
縁日で楽しんで頂きながら村の活動紹介や里親制度の啓蒙などを行って  
おります。皆様方のお力添えを頂きたくご協賛をお願いいたします。

## 『クローバーカフェ』のお知らせ

養育里親(※養子縁組とは違う)について知ってもらいたいとの思いから今年  
はカフェを2回開催いたします。どうぞお気軽にお問い合わせください。

日時:

①2024年07月20日(土)10:30～15:00 ※「子どもの村東北夏祭り」も同日開催

②2024年10月13日(日)09:30～11:30 ※「子どもの村東北ミニプレーパーク」も同日開催

## 2024年度(第13年度)総会が6月16日に開催されました

NPO法人子どもの村東北2024年度総会が6月16日、子どもの村杜の  
ホールで開催され、2023年度実績報告と2024年度予算計画、役員改選  
が承認されました。2023年度は、コロナが5類に変更になり、開村以来  
初の地域の方々をお呼びして夏祭りを開催し、多くの人たちが賑わい  
ました。秋には秋祭り、冬にはクリスマス会など地域の子どもたちを招待  
し、交流を深めたことも初めての試みでした。茂庭台地区市民文化祭にも  
村ブースを出展し里親事業のPRを行い、多くの方々から率直なご質問  
を始め、たくさんの温かい言葉を頂きました。行事ごとに様々なボラン

ティアの支援が入り、外との繋がりにも広がり、良いリレーションが生ま  
れた一年となりました。2024年度におきましても当法人が目指している  
ビジョン「すべての子どもに愛ある家庭を」の具体的な実現に向けて、  
支援が必要な子どもや家庭などに対し、常に当事者に寄り添い、プッシュ  
型、アウトリーチ型の支援を届ける活動を展開してまいります。そのため  
にも組織運営体制の強化を引き続き進め、支援、協力者の更なる拡大と  
地域資源との連携を図り、質の良いリレーションを意識した広報活動や  
持続可能な事業展開を図ってまいります。

## 子どもの受入状況

区分	年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	計
新規に里親委託等された子どもの数(A)		2	2	2	1	0	6	0	0	0	1	14
退村した子ども等の数(B)		0	0	3	2	0	2	4	1	1	0	13
今年度里親委託等されていた子どもの数(C) (C=前年度C-前年度B+今年度A)		2	4	6	4	2	8	6	2	1	1	-
一時保護の子ども数(D)		0	2	4	5	12	16	7	2	5	7	60
里親レスパイトケアの子ども数(E)		0	2	7	2	6	2	3	1	0	2	25
家庭生活体験事業の子ども数(F)		0	2	4	2	2	2	2	2	2	0	18
短期預かりの子ども数D～F(G)		0	6	15	9	20	20	12	5	7	9	94
その他の子どもの数(H)		0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	4
村で養育した子どもの数 (I) (I=前年度I+A+G+H)		2	11	29	39	59	86	99	104	111	121	-

※2023年度(2024年3月31日現在)

## 支援企業・団体 \ 応援 / メッセージ



株式会社森下興業  
代表取締役  
森下 繁 様

この度、子どもの村東北様に七十七銀行様のご協力のもと、縁あって支援させて頂きました。職員の皆様、関係者の皆様が日々子供たちの幸せを守り、そして育んでいく姿に尊敬の念が堪えません。実際にお邪魔させて頂いたとき、施設内を見学しながら話を聞き、様々な事情を抱える子供たちと笑顔溢れる毎日を過ごすために日夜奮闘する皆様に、ひとりの子を持つ親として大変感銘を受けました。子供たちが明るい未来を描けるように、微力ではございますが弊社としても今後も支援していければと思います。

## おすすめ 図書

### 『君たちはどう生きるか』

吉野源三郎 / (株)マガジンハウス刊



1937年に発表され80年以上読み継がれた名作で、中学生である主人公の

コペル君が、いじめや貧困などを体験する中で成長していく物語。おじさんとの手紙のやりとりのなかで「ものの見方」や社会の「構造」「関係性」を学んでいく。失敗や困難から必然的に、「本当の勇気とは何か」「生きるとは何か」を問い、世の中の誰かのために決断し行動するコペル君。情報に溢れあたる現代にも見える現代、一人の人間として、今まさに「私はどう生きるか」を問う一冊。

## ご支援いただいた企業・団体のみなさま 2023.11.1 ~ 2024.5.31 \*敬称略・順不同

### 支援会員寄付

おおぬま小児科、株式会社ホームユニバース、一般社団法人仙台キワニスクラブ、ANK総建株式会社、有限会社華丸ラーメン、黒川こころの応援団、穴戸美香コーチングオフィス、日本建設株式会社仙台支店、医療法人ありま小児科医院、東日本大震災支援子どもの村東北

### 一般寄付

情報労連四国ブロック支部、情報労連東北ブロック支部、繁昌院、株式会社佐々直、日本基督教団仙台五橋教会愛隣こども園、医療法人こだま小児科、穀町保育園、第一光の子保育園、白ハト食品工業株式会社、株式会社リフォームハウス小幡、株式会社ワイエサービス、株式会社菅原工業所、丸由自動車株式会社、東北労働金庫宮城県本部、パートナーズ橋本社会保険労務士事務所、吉田小児科医院、木工とトールの家ハーモニー、有限会社針生工業、株式会社リードスペシャリティーズ、株式会社 BESS 高勝、とどけ和の響き、東北新生工業株式会社

支援会員 個人会員 943名 / 団体会員 94企業・団体 \*2024年5月31日現在

本年度助成頂いている団体 サントリー東北サンさんプロジェクト みらいチャレンジプログラム

物品ご寄贈・自動販売機・募金箱の設置・チャリティー募金など、ご協力頂いているみなさまへ  
あたたかいご支援ご協力に感謝申し上げます。



認定特定非営利活動法人

# 子どもの村東北

資料請求・お問い合わせ / TEL:022-281-8837

WEBサイトは [子どもの村東北](http://cvtohoku.org/) で検索ください。

### 【法人事務局】

TEL : 022-281-8837 / E-mail : info@cvtohoku.org

### 【子どもの村】

TEL : 022-281-9653 / E-mail : center-t@cvtohoku.org

住所 : 〒982-0252 仙台市太白区茂庭台2丁目16-9-1

FAX : 022-281-9659

\*法人事務局と子どもの村の住所・FAXは共通となります

URL : <http://cvtohoku.org/>



子どもの村東北

※当法人は認定NPO法人です。当法人へのご寄付は確定申告の際、税制上の優遇措置が受けられます。